

学校教育目標具現化の試みとしての「学級の歌」

足利市立筑波小学校

1. はじめに

本校の教育目標「やりぬく力 思いやる心」は、足利市の教育目標「18. 友達と互いに協力し合うことができる。 27. よりよい仲間づくりをするために不合理な差別や偏見をもたないで生活することができる。 52. 基礎的な知識や技能を習得し、自ら学びとる態度を身につける。 59. 困難にくじけずねばり強くやりとげる態度を身につける。」と特に強く関連付けられている。本校での教育目標の達成及び具現化は、とりも直さず足利市の教育目標の達成及び具現化に結び付くものと考えている。そこで、本校では学校教育目標具現の方策の中に、経営の具体策として、その教育系列の重点目標の2に「人の気持ちや立場を大切にする子の育成」を。また、その努力点の(3)「望ましい学級集団づくりに努力する。」の具体策4では「学級の歌を作りなごやかに歌うようにする。」ことを取り上げた。学級の歌については、従来いくつかの学級で担任が学級経営の必要から作り、学級会や朝の会・帰りの会で歌われていた。この試みを、本年度は全校全学級で取り組み、全児童に学校教育目標の浸透することを願い実践したものである。

まず年度頭初の職員会議で、新年度学校経営計画説明の折に、「学級の歌」が本年度の具体策であることの確認がなされたが、その実践となるとそれぞれの学級計画の都合もあり完成実行まで一律にはいかない。そのため、本年度は秋の音楽発表会のプログラムの中に学級の歌を披露することにした。低・中・高学年の児童の発達段階の違いから、各担任は歌詞の作詞には苦勞をしたようである。例えば、低学年の学級では担任が教育目標をそしゃく分析して作詞した。また、中学年では児童と教師の合作で、高学年では児童から歌詞を募集し決定したものを担任が補筆するといった具合であった。なお、創作された各学級の歌に作曲まで求めることは、児童の実態から無理であったので、その大部分は歌詞の雰囲気合った曲想をもつ他の曲節から借用し、替え歌の形で発表された。

2. 学級の歌

作られた「学級の歌」は下の通りであるが、御笑覧の上御批判御指導いただければ幸いである。

1年1組 指導 岡崎佳子
「ぼくらのクラス」
1. 君とぼく 友だちだ
ときには
けんかもするけど

手をつないで
ほら 歌えば
笑顔が いっぱい
2. あまえっ子 おこりんぼ

なき虫に 笑い虫
みんな みんな
かけておいで
ぼくらのクラス

3. どんなに
かなしいときにも
ひとりで
ないたりせずに
かたをくんで
空を見上げて
この歌 うたおう

やさしい君と
元気なぼくと
みんなでつくろう
たのしいクラス
(原曲 小さな世界)

1年2組 指導 持斎千恵子
「1年2組の歌」

1. とともなかよし 36人
みんなで 手をつなぎ
笑っているよ
きらきらひかる1年2組

2. 元気もいっぱい 36人
けんかも するけど
すぐ なかなか
きらきらひかる1年2組

3. ところやさしい 36人
だれか こまると
みんな 助ける
きらきらひかる1年2組
(原曲 キラキラ星)

2年1組 指導 原 美和子
「なかまたち」

1. ぼくらのからだの中には
力と勇気がつまっている

みんなの力を合わせると
大きな力になるんだ
くよくよなんかしないで
大きな声で笑ってごらん
めそめそなんかしないで
2年1組 あかるい子

2. ぼくらのところの中には
やさしさいっぱい
つまってる
時どきけんかもするけど
本とはみんな友だちだ
くよくよなんかしないで
風に向かって

走ってごらん
めそめそなんかしないで
2年1組 なかまたち
(作詞作曲 担任)

2年2組 指導 高木堅持
「2年2組の歌」

1. ぼくらはみんな元気な子
みんななかよく遊ぼうよ
ぼくらはみんな明るい子
だからみんなで歌おうよ
手と手をつないで

力を合わせ
天までのびよう2年2組
国語だって 社会だって
算数だって

みんな みんな
とくいなんだよ
がんばって いるんだよ

2. ぼくらはみんな
なかよしだ

けんかしないで 遊ぼうよ
ぼくらはみんなやさしんだ
だからみんなで助け合おう
手と手をつないで

力を合わせ
天までのびよう2年2組
図工だって 体育だって
音楽だって

みんな みんな
とくいなんだよ
がんばって いるんだよ
(原曲 手のひらを太陽に)

3年1組 中嶋 聡
「歌え1組」

全 3年1組 明るい子
わらってごらん ワッハハ
いつでも どこでも
だれとでも

元気にあいさつ 今日
あ〜あ〜 いいな
1組は 元気な子
力いっぱい いっぱい

ララ がんばる子
1組は 1組は
みんな なかよしさ

1組は 1組は
みんな ともだちさ
(原曲 歌えバンバン)

3年2組 指導 小高 敬子
「クラスの歌」

1. 2組はみんな元気だ
とっても明るい 元気な子
ちょっと ふざけるけれど
負けずに 負けずに

がんばるぞ

※「がんばろう オー
がんばろう オー
オ パキャラマド
パキャラマド
パオパオ パンパン
オ パキャラマド
パキャラマド
パオパオ バ」

2. 2組はみんななかよしだ
とってもやさしい

明るい子

大きな声で あいさつ
元気いっぱい 今日は
(※ くりかえし)

3. 2組は楽しいクラスだな
力を合わせてやりぬく子
いつでもみんな助け合う
もっともっとがんばるぞ
(※ くりかえし)

(原曲 クラリネットを
こわしちゃった)

- 4年1組 指導 松本静枝
「学級の歌」

1. 4年1組 元気な子
みんな楽しく 遊べる子
けがや病気をふきとばし
寒さに負けず つき進む
4年1組 良いクラス

2. 4年1組 やさしい子
みんな仲よく 助け合い
人がこまっている時に

やさしく声をかけられる
4年1組 良いクラス

3. 4年1組 がんばる子
みんなすくすく
のびていく
勉強 運動 できなくも
何でもがんばり

やりぬく子

4年1組 良いクラス
(原曲 勇気一つを友にし
て)

- 4年2組 指導 亀田 通
「4年2組の歌」

1. 友達はいいな
なやみが言える
こまったときには
話をしよう
えんりょは いらない
いつでも どこでも
きみを見てるよ
愛を心にもって

2. 友達はいいな
なやみが言える
かなしいときには
はげまし合おう
みんなは 1人のために
1人は みんなのために
みんなで 助け合おう
心はひとつ
大きくなって

わすれはしない

4年2組はいいな
(原曲 ゆかいに歩けば)

5年1組 指導 伊藤順一
「君の夢 ぼくの夢」

1. 君の夢 ぼくの夢
それはいっしょに学ぶこと
ほほえみかける教室で
光 あふれる校庭で
はげまし合って学ぶこと

2. 君の夢 ぼくの夢
それはいっしょに集うこと
朝日に向かい元気よく
夕日に向かいさよならと
手を取り合って集うこと

3. 君の夢 ぼくの夢
夢をいっしょにさがそうよ
はげまし合って 学ぼうよ
手を取り合って集おうよ
夢のつぼみをさがそうよ
(原曲 君の夢 ぼくの夢)

5年2組 指導 海老原恵子
「こころはひとつ」

1. ときにはなぜかけんかして
なきたくなって
しまうものさ
だけどみんな力を合わせて
こころひとつ希望をもって
風をかきわけ

どこまでもはしれ
そこに未来が待っているから

2. ときにはなぜかつまずいて
かなしくなって
しまうものさ
だけでもみんな力合わせて

ころろひとつ
 あしたを見つめ
 友をしんじて
 どこまでも進め
 そこに大きな
 ゆめがあるから
 (原曲 気球にのって
 どこまでも)

6年1組 指導 小野一枝

「仲間たち」

1. 6年1組はみんな仲間だ
 思いやりやりぬいてゆく
 明日に向かい
 歩いてゆくのさ
2. ぼくたちの仲間
 明るくてすなお
 助けあい仲よくくらす

希望に向かい
 歩いてゆくのさ
 3. 手と手をつなぎ
 たのしい仲間
 話し合い 力を合わす
 目指すはひとつ
 歩いてゆくのさ
 (原曲 若者たち)

6年2組 指導 山田耕蔵

「クラスの歌」

1. 6年2組 みんな良い子
 おしゃべりうるさいけど
 女の子は バレーボール
 男の子は 毎日スポーツ
 しています
2. 6年2組 みんな元気

仲よくあそんでます
 勉強するとき
 すすんで もっと
 手をあげてーね
 3. 目標にむかって
 みんなで努力しよう
 ララ 卒業する その前に
 何か残して 何か残して
 (原曲 サモア島の歌)

3. おわりに

「学級の歌」を歌唱しながら、児童の心や行動にわずかでも変容の様子が見られるようになれば、私たちは所期の目標に到達しつつあることになる。音楽発表会以後、各学級の実践の場は、低学年においては朝と帰りの会において歌唱され、中・高学年ではそれに加えて学級会でも歌われている。これら実践については音楽発表会後、日も浅いこともあって変容の兆しを見いだすに至らないが、それでもそれぞれの学級で児童が楽しそうに、大声で、声をそろえて歌っている様子を見るにつけ、近い将来の時期に必ず学校教育目標の「やりぬく力 思いやる心」を到達することができ、児童間に時折みられるトラブルも自力で解決できる態度が養われていくのではないかと期待を寄せている。また、このことは本校が昭和52年以来実践を積み重ねてきた、同和教育の目的達成に結びつく一つの試みであることも明記しておきたい。

(文責 川田 昌宏)

評

学校教育目標の具現化，創意ある学校運営など，学校経営上の中心課題として，よく論じられることでありますが，具体的な教育計画の策定や教育活動推進の段階になると，その課題を生かしきれず，遊離してしまう現状が多くみられます。

筑波小学校では，学校教育目標具現化の一つの試みとして，「学級の歌」をとりあげ，学級の歌をつくる過程とその活用を通して，「人の気持ちや立場を大切にする」「望ましい学級集団づくり」などの具現を図ろうとしました。この試みは，きわめて具体的でありかつ着実な実践でもありますので，今後も継続して指導するとともに，よりよい具現化のための手だてを構築されることを期待いたします。